

## 令和4年度 工事検査実績

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに実施した工事検査実績をまとめた結果は以下のとおりです。

令和5年7月 仙台市財政局財政部検査課

### I 工事検査実績

#### ① 検査総件数及び工種別件数

検査総件数の種類別及び区分別件数について、実績をとりまとめた結果は図1-1及び図1-2のとおりです。

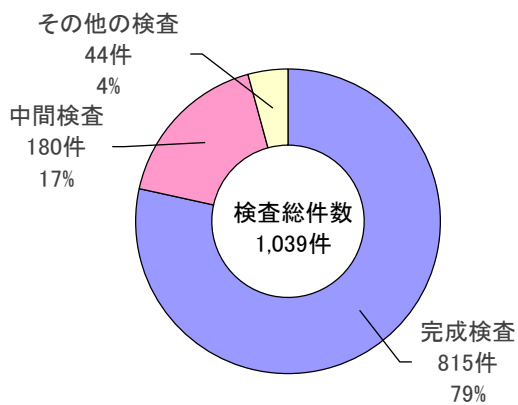


図1-1 検査総件数(種類別)

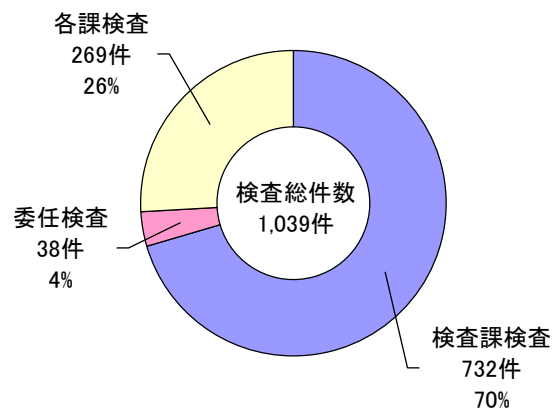


図1-2 検査総件数(区分別)

令和4年度の工事検査の総件数は1,039件(令和3年度は1,156件)でした。

このうち、完成検査は815件(約79%)、中間検査は180件(約17%)、その他の検査(一部完成検査、既済部分検査、精算検査)は44件(約4%)でした。

また、検査課検査は732件(約70%)、委任検査は38件(約4%)、各課検査は269件(約26%)でした。

#### <参考>

検査は、契約金額や内容等により、「検査課検査」、「委任検査」及び「各課検査」として実施しております。

- ・ 検査課検査とは、専門検査員(検査課長又は検査課長が検査を行う者として指名した検査課の職員)が行う検査。
- ・ 委任検査及び各課検査とは、指名検査員(工事担当課長又は工事担当課長が指名する当該課の職員)が行う検査。

工種別の完成検査件数及び完成検査契約金額をとりまとめた結果は図1-3及び図1-4のとおりです。

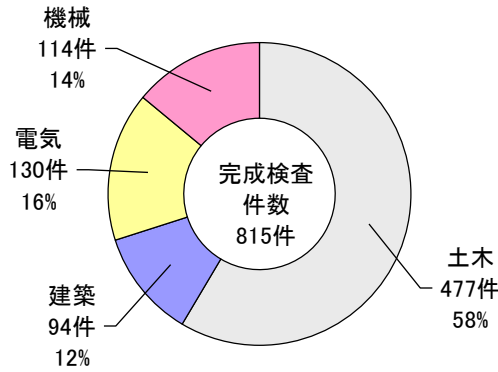


図1-3 工種別完成検査件数

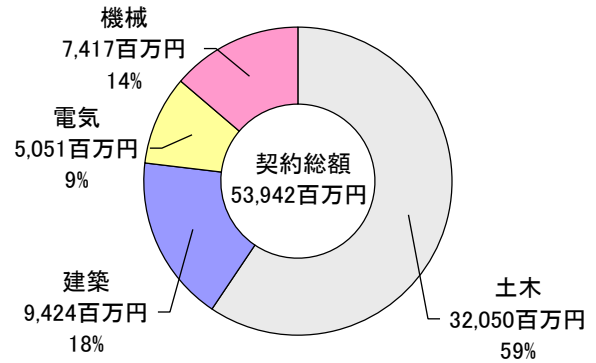


図1-4 工種別完成検査契約金額

完成検査件数の工種ごとの内訳は土木が477件(約58%)、建築が94件(約12%)、電気が130件(約16%)、機械が114件(約14%)でした。

完成検査金額の工種ごとの内訳は、土木が約32,050百万円(約59%)、建築が9,424百万円(約18%)、電気が5,051百万円(約9%)、機械が7,417百万円(約14%)でした。

## ② 工種別完成検査件数及び金額の推移

工種別の完成検査件数及び完成検査金額について、平成29年度から令和4年度までの推移をとりまとめた結果は図1-5及び図1-6のとおりです。

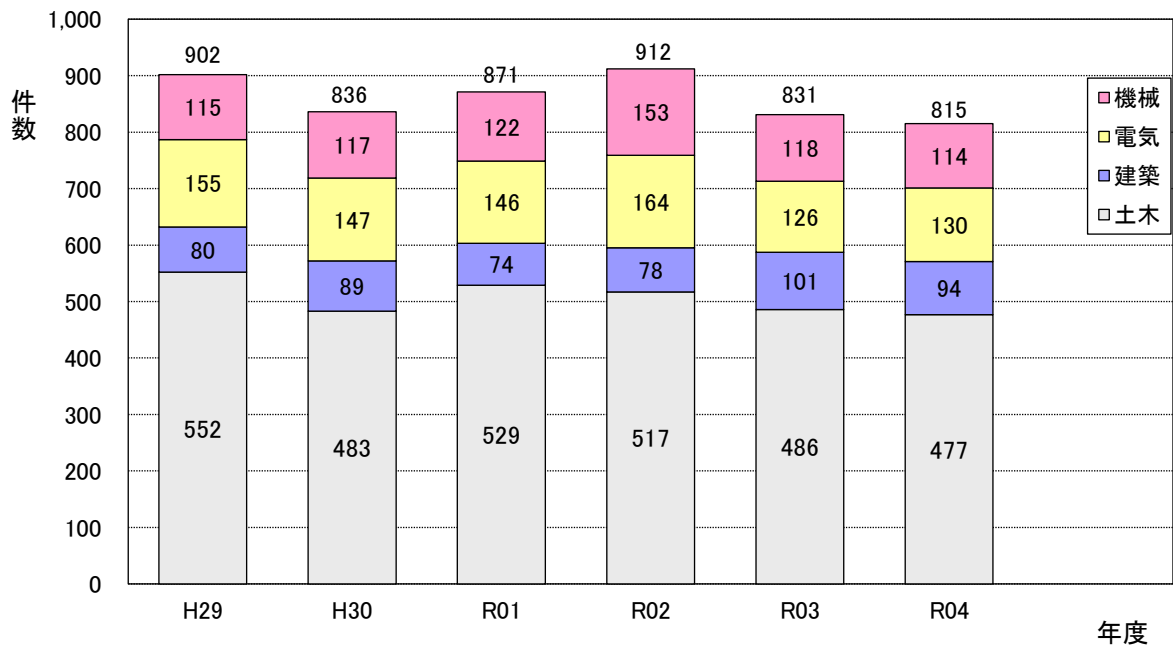


図1-5 工種別完成検査件数の推移

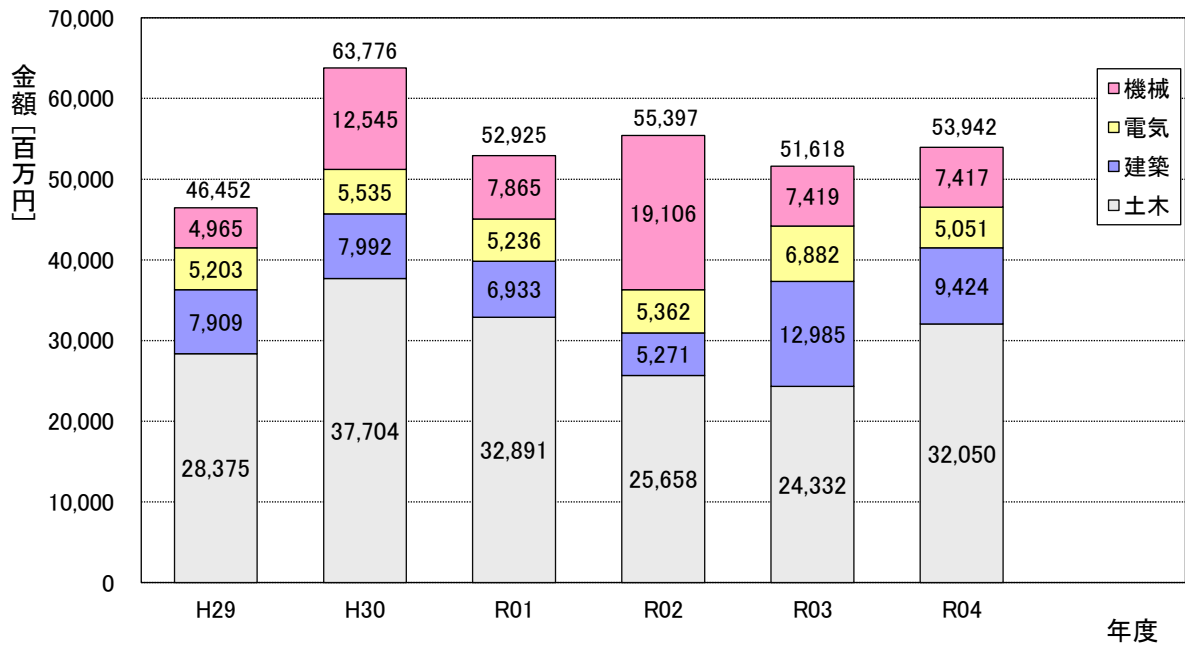


図1-6 工種別完成検査金額の推移

### ③ 月別検査件数

月ごとの検査件数をとりまとめた結果は図1-7のとおりです。例年同様、年度末の3月に367件で集中しており、検査総件数1,039件に対して約35%を占めています。

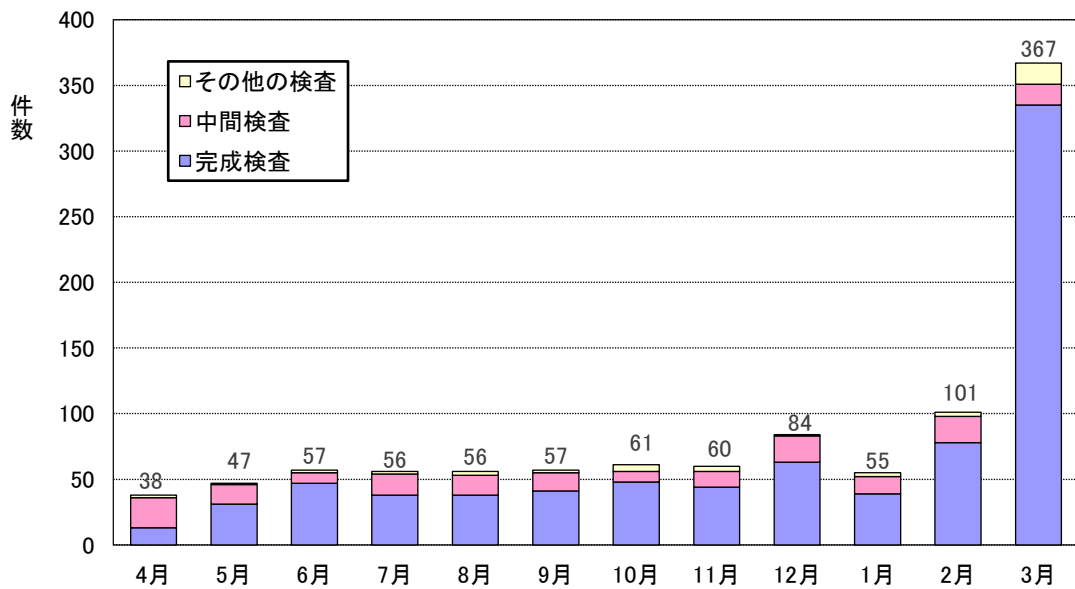


図1-7 月別検査件数

## Ⅱ 工事成績評定

### ① 評定点の分布

令和4年度完成検査の評定点の分布は図2-1のとおりです。

80点以上の「他の模範となる優秀な工事」の数は347件であり、完成検査総件数815件に対して約43%を占めています。

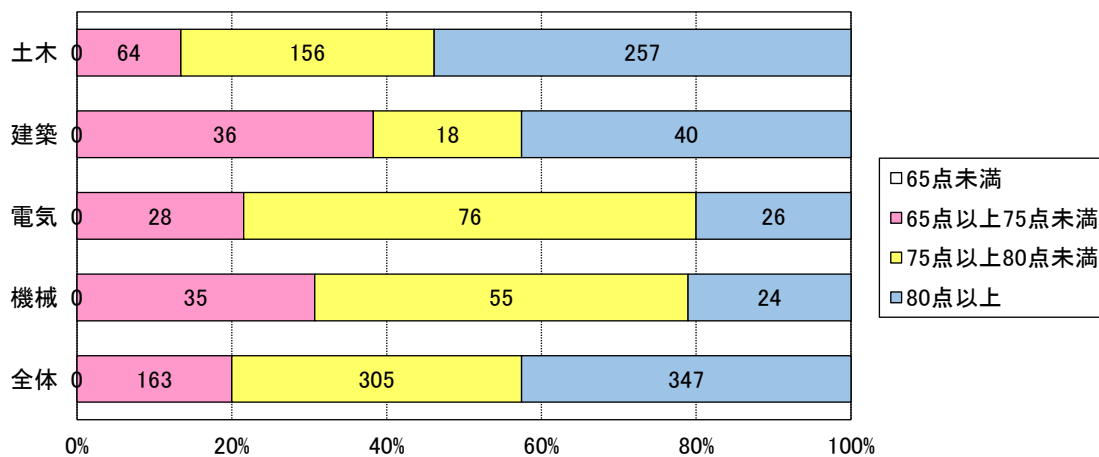


図2-1 評定点の分布(数字は件数)

### ② 評定点の推移

平成29年度から令和4年度までの工事成績評定の推移は図2-2のとおりです。

令和4年度の完成検査の評定点は、最高点、平均点、最低点ともに令和3年度と同様でした。

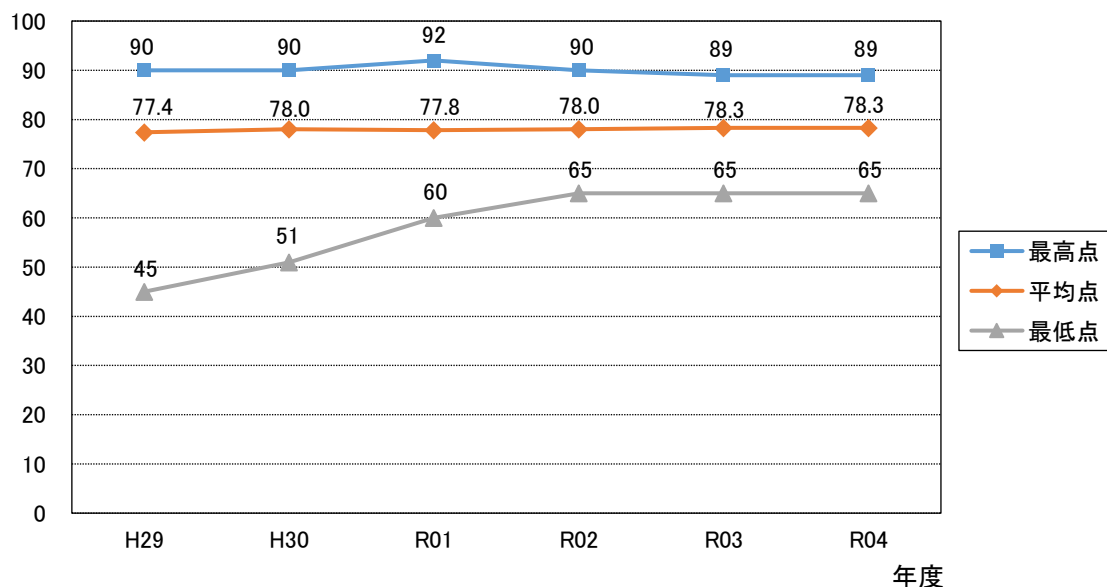


図2-2 評定点の推移

### Ⅲ 検査員による主な指摘事項

検査は、仙台市工事検査基準等に基づき、契約の履行状況や工事の実施状況等について、書類検査及び実地検査により確認等を行います。令和4年度の検査員による指摘事項の事例は以下のとおりです。工種に関わらない共通事項と工種ごとの指摘事項に分けています。

#### 工事の実施状況に関すること

##### 【共通事項】

- 契約書等に定める期日までに工事実績情報システム(CORINS)登録や建設業退職金共済証紙購入状況報告書等の書類が提出されていない。
- 一部下請負通知書、施工計画書、施工体制台帳、施工体系図、建設業退職金共済証紙配布状況総括表等において、共通する記載事項の整合がとれていない。
- 設計変更の際して、協議・承諾・確認等の適切なプロセスを経ていない。
- 設計変更により工法の変更等を行ったにもかかわらず、その変更に応じた施工計画書や施工要領書等が提出されていない。また、完成図に変更内容が反映されていない。
- 施工計画書が当該工事の設計図書や現場の状況に応じた内容になっていない。
- 施工計画書に仕様書などの設計図書に示された試験等の項目や基準値が明確に整理されていない。
- 施工計画書において工程ごとの写真の撮影方法を示しているにもかかわらず、確実に実施されていない。
- 作業主任者の選任が必要な作業において、施工計画書等に作業主任者の名称と名簿が記載されていない。
- 建設業許可の更新があっても施工体制台帳が更新されていない。

##### 【土木工事】

- 側溝新設工事で、掘削深が1.5m以上の場合に矢板設置などの安全対策を行っていない。
- 杭打機等の重機での施工の際、アウトリガーが敷き鉄板の端部からはみ出したまま施工した。
- 側溝設置工事で、敷き鉄板から外れて重機のキャタピラーや運搬車両のタイヤを乗せて施工した。
- 月に一度の安全教育において、共通仕様書に記載されている下請負業者の作業者全員を対象に安全教育が実施されていない。

#### 出来形に関すること

##### 【共通事項】

- 工種ごとに設けるべき管理基準がない、または不明確で、施工の出来形管理ができていない。
- 出来形管理の測定結果表や品質管理の試験結果表などで項目や規格値が施工計画書と合っていない。
- 撤去工事において、施工前には不可視で施工後には撤去される基礎等の計測ができていない。
- 地中埋設部分など完成時に見えなくなる部分において、施工写真がなく確認できない。
- 屋外での作業にもかかわらず、設計値に対して出来形管理の全ての実測値が±ゼロで管理されている。
- 特記仕様書などで示す非破壊検査(エックス線検査、アンカーボルト引き抜き試験、浸透探傷試験等)の結果の記録が提出されていない。

##### 【土木工事】

- 掘削幅測定の際、掘削軸方向に対して斜めにリボンテープを当てている。
- 鉄筋の配筋検査の写真管理において、近景のみしかなく測定箇所が分からない。
- アスファルト舗装補修工のクラック防止シート張りの継目にて、シートの重ね合わせの管理写真がない。

### 【建築工事】

- 鉄骨工事や建具工事などの工場製作品を現場に受入れするにあたり、出荷前の製作者による自主検査は行っているが、製品の製作に関する出来形管理基準など工場製作要領等による確認がないまま搬入している。

### 【電気・機械設備工事】

- 接地極の打設深さや接地極相互の離隔について、測定管理が明確でないまま施工している。
- 埋設部や隠ぺい部の配管など施工後に不可視となる箇所について、支持・吊り間隔の寸法や勾配の数値が写真管理されていない。

## 品質に関すること

### 【共通事項】

- 仕様書など設計図書に定められた試験・測定の結果が不足している。
- 仕様書に明示された品質証明が必要な材料にかかる資料が提出されていない。
- 材料が品質管理基準に基づき管理されていない。

### 【土木工事】

- コンクリートやアスファルト混合物の運搬時間や打設・養生時の外気温が記録されていない。
- コンクリートの圧縮強度試験において、供試体に工事名等のラベル等が添付されていない。
- 橋梁等の重要構造物のコンクリートの供試体について、現場と同じ状態にした現場養生の管理ができていない。
- 舗装補修工事等で、従前舗装の施工ジョイントからのクラック発生抑止のためのジョイント部への乳剤塗布の工夫(乳剤塗布の仕方、高濃度乳剤、目地材の使用など)が不足している。
- 施工基面の仕上がりの確認ができない。

### 【建築工事】

- 塗料やシール材等のケミカル系材料の使用可能期限の確認ができていない。
- 軽易なコンクリート工事において、監督員の承諾を得ずにフレッシュコンクリートの試験を省略している。
- 塗料や塗膜防水など膜厚の管理が必要な材料について、施工数量の管理がされていない。

### 【電気・機械設備工事】

- 機器等の設置における耐震施工について、耐震計算書に基づくアンカーボルトのサイズや本数の算定、締付トルクやダブルナットによる緩み止めの管理等が適正に行われていない。
- アンテナマストの納入仕様書に耐風圧強度計算書が添付されていない。

## 出来ばえに関すること

### 【土木工事】

- コンクリート構造物にクラックが残っている。
- 舗装端部の転圧が不足している。
- 舗装と人孔等の段差擦り付けにおいて、走行時のショックが考慮されていない。
- L型側溝、歩車道境界ブロックなどの目地モルタルの充填が不足している。

### 【建築工事】

- 「ちり」や「納まり」が、既存部分と改修部分で形状、大きさ、寸法などが異なり、統一感がない。
- 天井材等の割付や通り等がおかしく、見栄えが悪い。

### 【電気・機械設備工事】

- 機器・器具等の設置位置の調整不足や文字表示の不足など、周囲との調和や保守管理等への配慮に欠けた仕上がりとなっている。